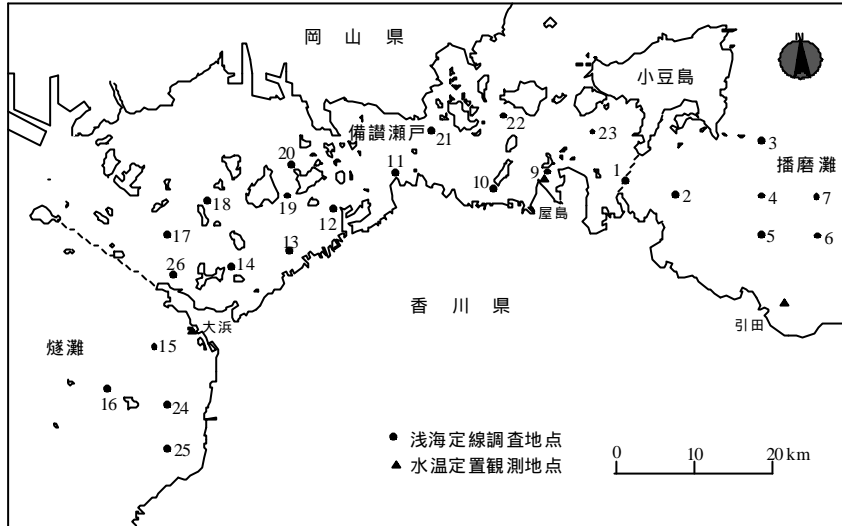


# 香川県漁海況速報 平成14年12月 (H14- 9号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成14年12月2日(播磨灘)、3日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや低めからかなり低め」、塩分は「かなり高め」、透明度は「やや低めから著しく高め」、溶存酸素は「平年並みからやや高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	15.4	15.4	15.0	33.2	33.2	33.2	11.0	5.61	5.43
	平年値	16.6	16.6	16.6	32.1	32.1	32.2	6.5	5.41	5.32
	平年偏差	-1.2	-1.2	-1.6	1.1	1.1	1.1	4.5	0.20	0.11
	状況	やや低め	かなり低め	かなり低め	かなり高め	かなり高め	かなり高め	著しく高め	やや高め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	14.9	14.8	14.8	33.4	33.4	33.4	6.1	5.73	5.81
	平年値	15.7	15.7	15.7	32.0	32.0	32.2	5.0	5.38	5.33
	平年偏差	-0.9	-0.9	-0.9	1.4	1.4	1.2	1.1	0.35	0.48
	状況	やや低め	やや低め	やや低め	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや高め
燧灘	4地点平均値	15.5	15.4	15.4	33.4	33.4	33.4	5.4	5.75	5.74
	平年値	16.2	16.2	16.2	32.4	32.3	32.4	7.4	5.40	5.27
	平年偏差	-0.8	-0.8	-0.8	1.1	1.1	1.0	-2.0	0.35	0.47
	状況	やや低め	やや低め	やや低め	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	やや高め	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

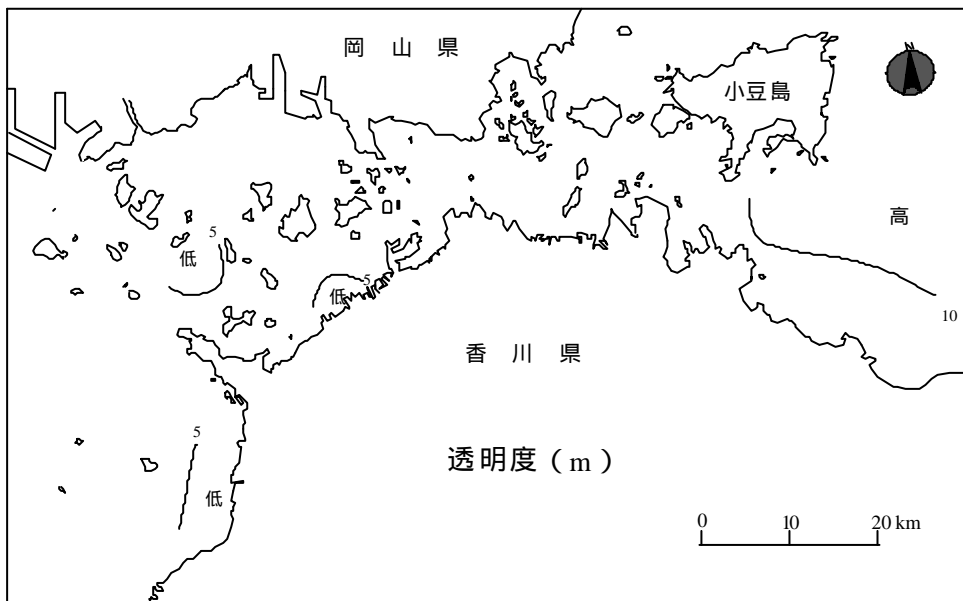
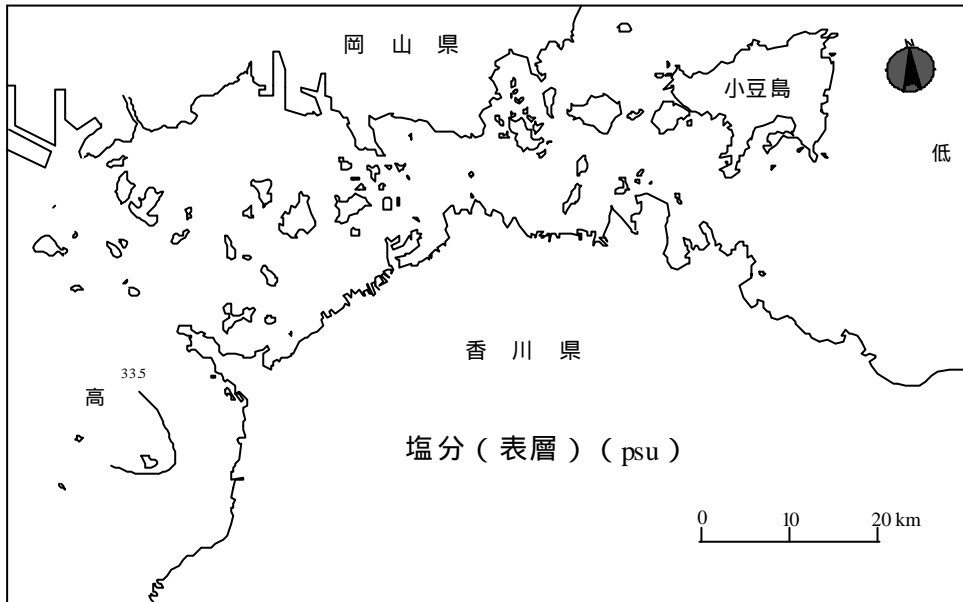
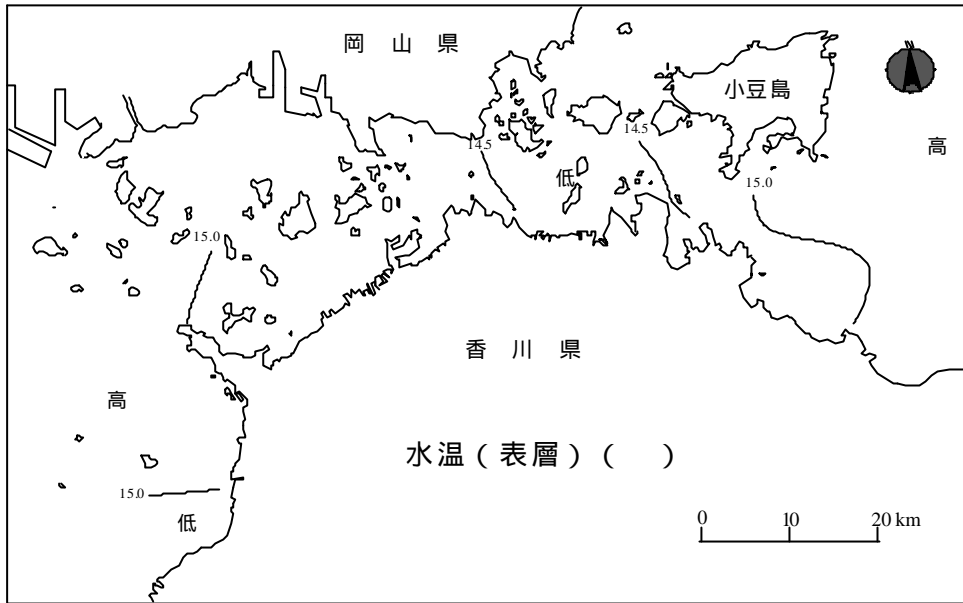
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成8(1996)年度

透明度：昭和58(1983)～平成8(1996)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差
		: 標準偏差



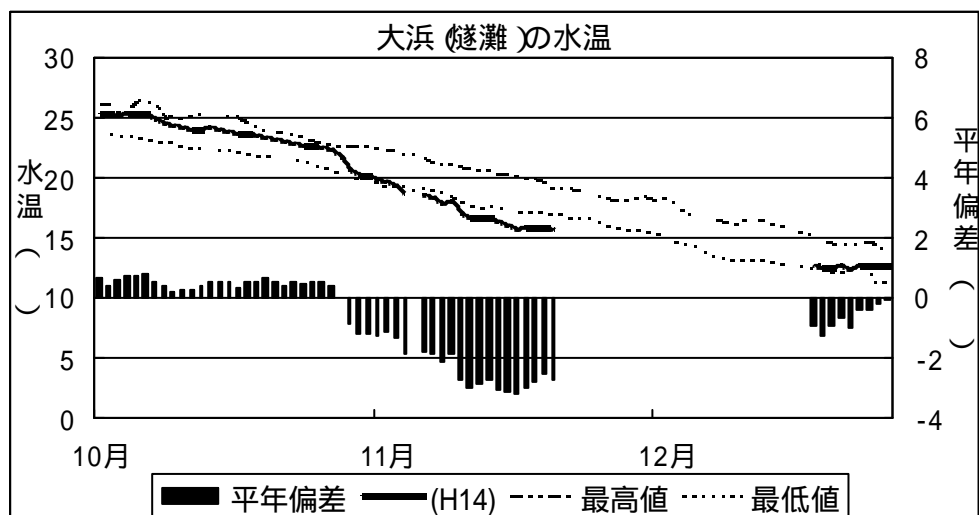
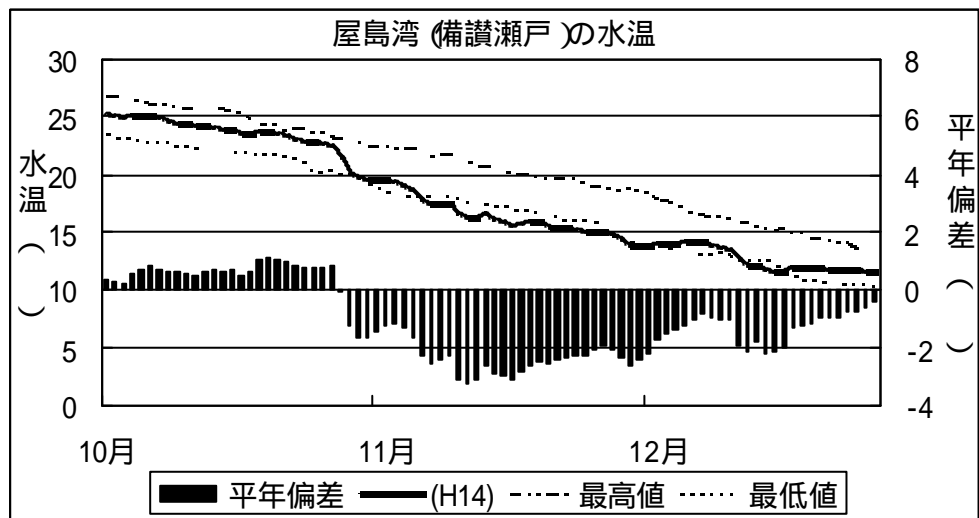
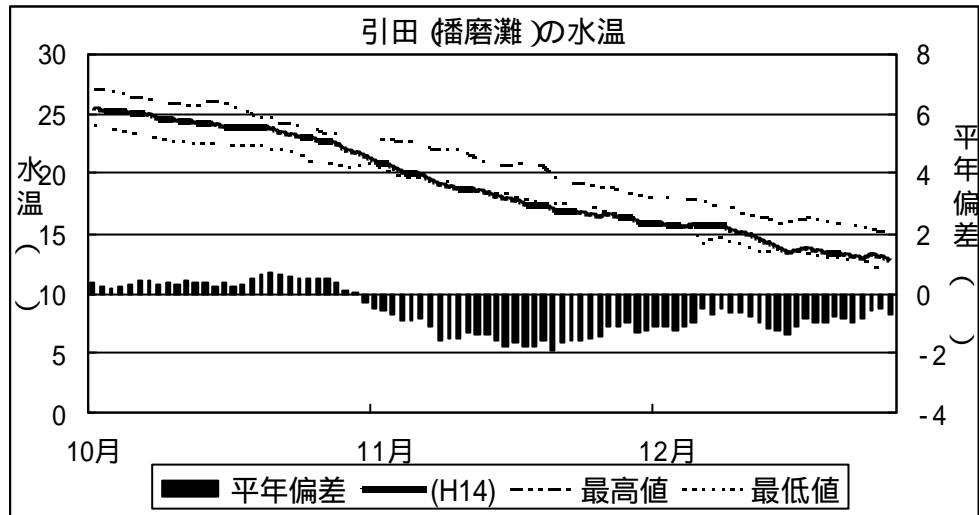
## 2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 11月中旬に - 1.5 前後で推移していた平年偏差が12月に入りやや小さくなり、  
- 1.0 前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 11月中旬に - 3.0 まで低下していた平年偏差が12月に入り小さくなり、平  
年水温に近づいている。

燧灘(大浜): 11月20日から12月16日まで測定機器の故障で欠測した。12月下旬の平年偏差  
は小さくなり、平年水温に近づいている。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成12(2000)年  
屋島: 昭和50(1975)~平成12(2000)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。  
 備讃瀬戸：発生なし。  
 燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成14年12月2日（播磨灘）、3日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.20	0.07
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.11	0.07

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	-	-	0.0%	0.0%
燧灘平均	-	0.0%	0.0%	0.0%
総平均	-	0.0%	0.0%	0.0%

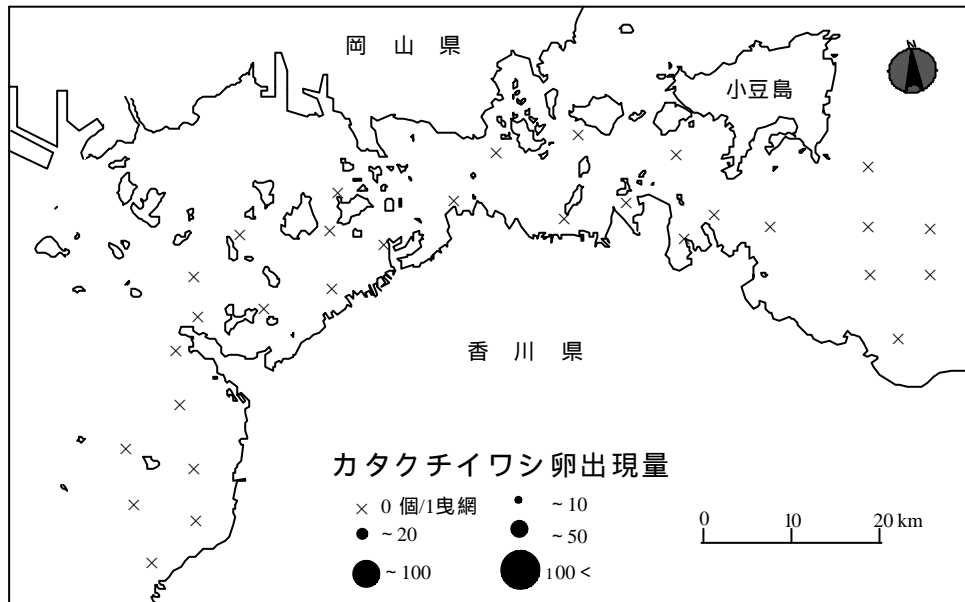
- : 平年値が 0 の場合を示す。

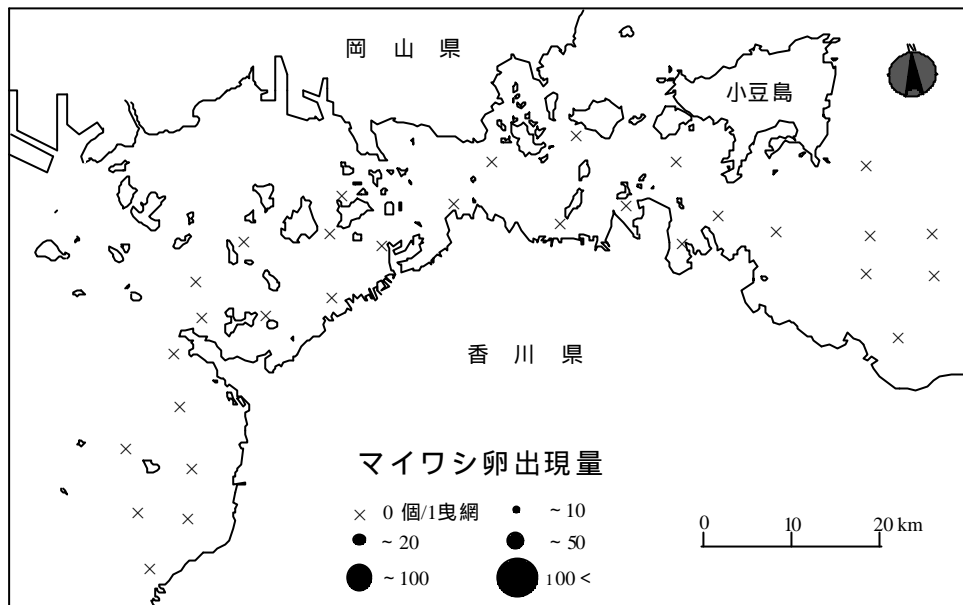
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和 55（1980）～平成 12（2000）年度

マイワシ：平成 5（1993）～平成 12（2000）年度

カタクチイワシ、マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。





## 2. 漁況

11月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にスズキ、マコガレイ、小型イカ類、ウシノシタ類が漁獲されている。</p> <p>引田の柵網では好漁が続いていたマアジも12月になって殆ど漁獲されなくなった。</p> <p>船びき網のカタクチイワシ漁は、11月下旬頃から漁獲されなくなり、12月に入って漁が終了した。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マダイ、小型エビ類、小型イカ類、マダコ、カワハギ、マアナゴが漁獲されているが、イダコが少ない。</p> <p>中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業は12月1日から操業が始まり、漁期始めとしてはまずまずの漁獲があった。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、フグ類、スズキ、小型エビ類、シャコが漁獲されている。</p> <p>柵網ではスズキ、ウマズラハギが漁獲されている。</p>